

# 「d+tar」がつなぐ、ICT教育支援の襷(たすき)

## ■「お客様」との情報共有から、すべての情報共有へ

ヘルプデスクを行う者と、そのヘルプデスクの業務をご依頼いただいた「お客様」と情報共有とともに、お客様が契約されている他の委託業務などの関係者にもご利用いただくことで、「ポータル」としての情報共有が可能であると考えます。



「議会審弁等に急に機器故障数が知りたときでも  
すぐに検索して出すことができ、非常に便利で助かりました」  
教育委員会 管理職(50代)



「機器更新後に多かつた問い合わせをピックアップして事前に連絡していたところ、  
ある校長先生から「今回の更新はスムーズだったね」とおほめの言葉を頂きました。  
現場の負担が軽減されたことがわかり非常にうれしかったです」  
教育委員会 指導主事(40代)



「報告書を登録すると、データの蓄積になるということを実感しました。  
昨年同時期の報告書を読み返して、先生にご提案を行うと非常に喜ばれます」  
ICT支援員(30代)

## ■新たな「つながり」を、私たちとはじめませんか。

いま、教育市場のお客様の課題をつかみ、そこから提案していくためには、新しいツールが必要だと考えています。15年以上ヘルプデスク業務を通して課題を発見、管理し、お客様と共に解決してきたこのツールを使ってお客様のお役に立ちたいと願っております。

## ■d+tarへの登録により、教育支援データベースを役立たせていただいている自治体



## 教育支援ヘルプデスク運用支援ツール

# d+tar

(データス)

顧客利用率100% / 50万件以上の実績  
ICT教育支援Webデータベース

※2017年06月現在運用中自治体数  
※2017年06月現在ヘルプデスク案件数

1分でお困りの事を伝える相談サービス

☎052-252-8180

□URL:ict-help.jp

Hyper Brain Inc.

株式会社ハイパーブレイン

〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2丁目16-25

株式会社  
ハイパーブレイン  
HYPER BRAIN INC.

# d+tar には50万件を超えるデータが蓄積されています

※2017年6月現在の利用データ累計数

ヘルプデスク運営に必要な事象はすべてドキュメントとして記録に残せます。

システムに蓄積することで、導入自治体の資産とすることができます。

データを分析して課題改善の提案を行うことで、お客様が継続を望む業務を行うことができるようになります。

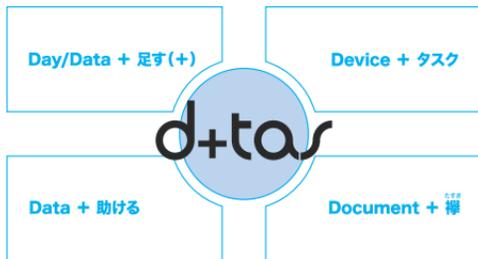
## 「d+tar」とは

### Day/Data + 足す(+)

日々データを足していく、蓄積、積み重ね、資産化。  
紙ベースで作られた報告書をデータベース化することで  
一元管理や情報共有に役立っています。

### Device + タスク

システム(デバイス)や顧客が抱えている課題を解決する。  
蓄積したデータを元に迅速な対応をすることで  
サポート水準の向上に繋がります。



### Data + 助ける

児童・生徒・教員・保護者・教育委員会など  
システムに関わる全ての人をサポートします。

### Document + 禱

蓄積した資料や対応履歴を相互にたずきかけて  
活用することで、ICTの禱(たすき)を未来に繋いでいきます。



## 15年以上使い続けられているツール

教育支援業務の最前線で使い続けられてきた実績。

d+tar の稼働率はメンテナンス時を含んでも  
99.99%と抜群の安定感を誇ります。

ヘルプデスク、自治体担当者、業者担当者、  
それぞれがそれぞれの場所からアクセスし、  
必要な情報を登録し、そのデータを得る。

シンプルなおに必要な機能がつまった最も使いやすい  
ヘルプデスク運用支援ツール

## 「d+tar」の機能・特徴

### 【インシデント管理】



お問合せに対してお伺いしなければならないことを、長年の経験・蓄積をもとに分析した最も効果的な入力画面の配置です。  
登録後、一覧表として見られます。  
見える化で人員の情報共有が進みます。  
勿論CSVでデータを取りだし、加工することもできます。

### 【問題管理】



問合せが多い内容が登録によってわかります。問題が発生しているのかどうか、発生しそうなかどうか、確認することができます。

### 【変更管理】



保守対応のための学校訪問の記録を登録することによって、現場でどのような対応を行ったか、どのような変更を行ったかドキュメントとして記録に残せます。

### 【リリース管理】



いつどのような業務を行ったのか、すべて記録しておくことにより、「アップデートは終わっているのか」等自治体担当者が確認したいときにいつでも確認できます。  
予定を登録することによって課題の共有化を図ることができます。

### 【権限管理】



ユーザー毎に権限を設定することができます。  
必要な機能を必要な権限で利用することにより情報漏洩のリスクを軽減するとともに、システムの適切な運用を図ることができます。

**50万件のデータ、  
15年以上の継続利用、  
顧客利用率100%の数字が  
d+tar の信頼性・有効性を  
証明しています。**